

エンコウソウ

Caltha palustris var. enkoso

キンポウゲ科

名前の由来

長くはう茎を手長猿の手に見立てて名付けられたという。
漢字名：猿猴草



エンコウソウ

形態的特徴

全体に肉質で軟弱。花茎は長さ80cm程度までのびて地表をはい、節から根を出す。根元からのびる根出葉には長い柄があり葉は腎円形、ふちに低い鋸歯があるが、まったく無い場合もある。花は鮮黄色で径2~3cm、5~6枚の花びら（花弁）状のがく片があり、花茎の先端に1~3個つく。

類似種と見分け方：エゾノリュウキンカ。

エゾノリュウキンカはエンコウソウよりやや大きく、茎は直立する。また、花がややまとまってついている。

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ



エンコウソウ



類似種のエゾノリュウキンカ



エンコウソウ。絨毯のように一面に広がる



エゾノリュウキンカ。株立ちする

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期	■											
結実期	■											

生育環境・分布

平地の水辺や湿地などに生育する。

分布：国外分布は、千島・樺太。国内分布は、北海道・本州。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、平地の水辺や湿地などに生育する。



エンコウソウ。湿地に生える

生活史

開花時期：4～6月

開花までの年数：不明

寿命：多年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。



エンコウソウの花。多数の雄しべが花の中心につく

興味深い話

■エンコウソウは花後、茎の節から根が伸びて越冬用の芽をつけ、翌年そこから新しい個体がのびる。

■しばしば観賞用植物として人家に好んで植えられるという。

配慮事項

生育している環境全体が重要である



エンコウソウ。種子が落ちた後

魚類

底生動物

爬虫類
両生類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ

参考文献

「改訂増補 牧野新日本植物図鑑」牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本II」佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「日本山野草・樹木生態図鑑」沼田眞 全国農村教育協会 1990